**医療機関向け大腸がん検診冊子の更新について**

**資料９**

1　これまでの経緯

○大阪府における大腸がん検診の精密検査受診率（精検受診率）は、他のがん検診と比べて低く、特に個別検診の精検受診率の向上が課題であった。平成24年より精検受診率を向上させるための様々の取り組みを行った結果、平成27年度には精検受診率70.2％と許容値70％を超えた。平成28年度には、個別検診では70.0％と許容値に達したものの、集団検診に比較し、10ポイント以上低く、更なる向上が必要である。

　＜大腸がん検診の精密検査受診率の推移＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
| 精検受診率（府全体） | 67.5％ | 70.2％ | 72.0％ |
| 精検受診率（個別検診） | 65.2％ | 67.9％ | 70.0％ |
| 精検受診率（集団検診） | 79.2％ | 81.9％ | 81.4％ |

①「知っていますか？大腸がん検診のこと（大腸がん検診Q＆A）」を府内大腸がん検診一次検診受託医療機関へ送付（平成24年12月3日付け健第2379号）

②大腸がん検診及びその精密検査のあり方について発出（平成25年2月19日付け健第3295号）

③平成25年度よりがん検診・診療部会長、大阪府健康医療部長の連名にて、精検受診率が下回る市町

　村に対し、がん検診の精度管理について発出

２　今年度の取組み（冊子の更新）

○大阪府第三期がん対策推進計画の目標値80％を達成するための更なる取り組みとして、平成23年度に発行、平成24年度に府内の大腸がん検診実施機関に配布した医療機関向け大腸がん検診冊子（上記①）の内容を更新する。

○更新後の冊子については、市町村を通じ一次検診受託医療機関へ配布する。

３　更新予定箇所

　①医療機関向け冊子であるというコンセプトを分かりやすく打ち出す

②かかりつけ医による個別受診勧奨の重要性を追加

③データの更新

○大腸がんの罹患数・死亡数データの更新

○5年相対生存率、進行度による5年相対生存率データの更新

○地域保健・健康増進事業報告精検受診率データの更新